粘菌さがしは　森の宝さがし

山直北小学校　６年　芦苅　茉遥
４年　芦苅　楓志

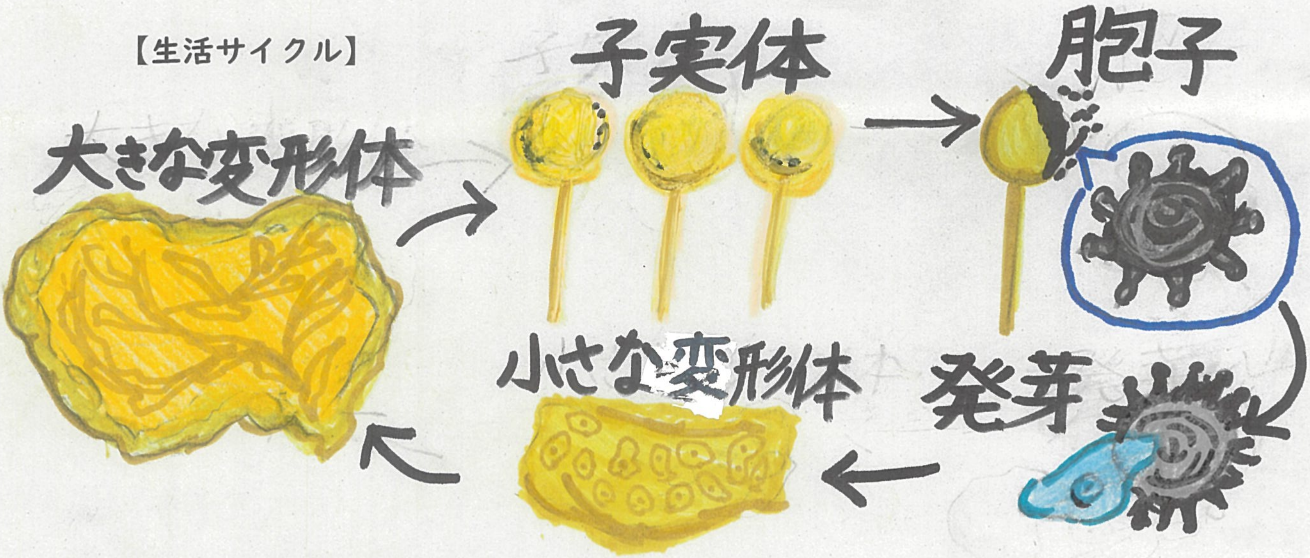
１、　動機

・夏休み、ふるさと自然公園センターの「粘菌観察会」に参加した。
・初めて「粘菌」を知り、きれいでかわいくて興味をもった。
・粘菌研究者の川上新一先生、そして南方熊楠の研究に出会った。
・自分でも粘菌をさがしたくなった。

２、　粘菌ってどんな生き物？

「変形菌」とも呼ばれる不思議な生き物で、動物のように動き回ってエサを食べる。植物のように胞子を飛ばして増える。

【生活サイクル】



３、　粘菌さがしの方法とコツ

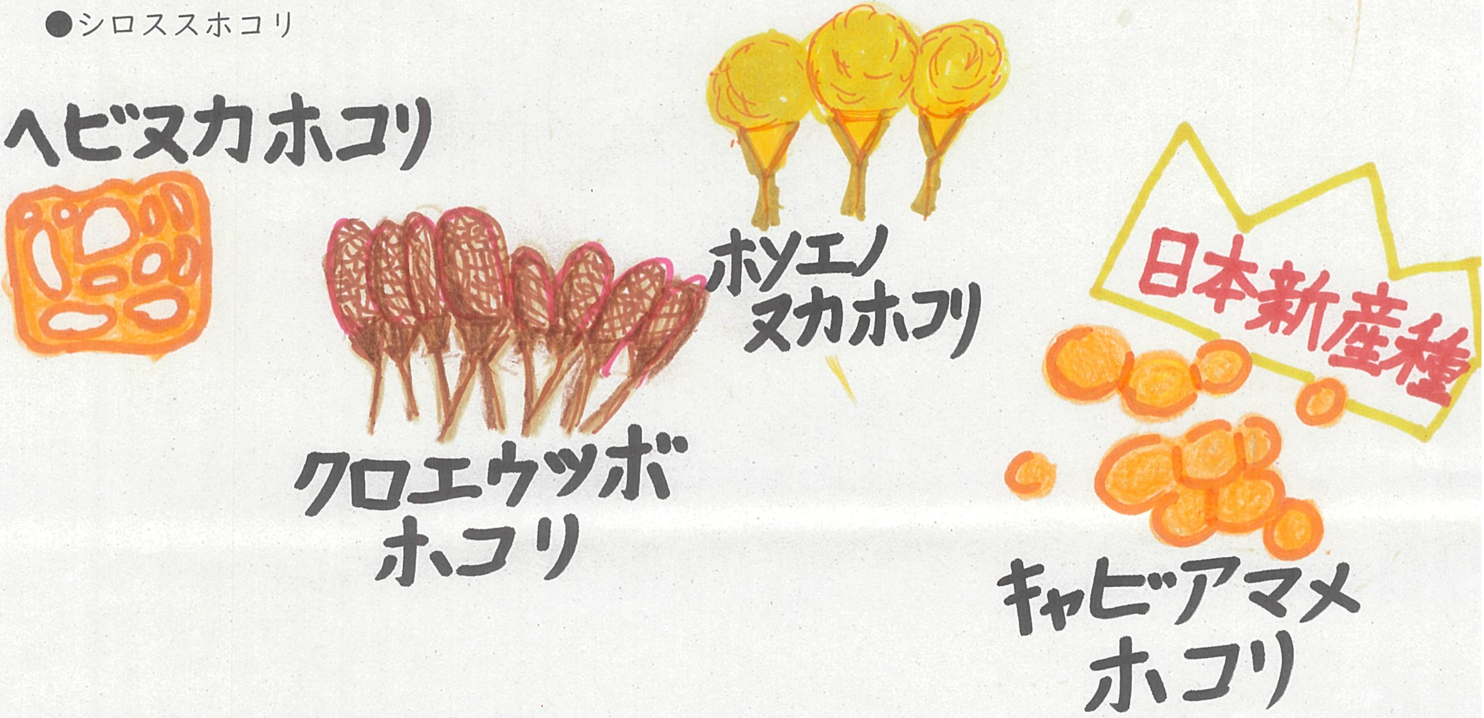
・しめった場所（落ち葉の下、朽木の中など）にいる。
・明るい所より日かげでしめった場所をさがすと見つかりやすい。
・雨上がりによく見つかる。
・小さいので、ルーペや電子顕微鏡、カメラを用意する。
・「まず動かず、じっと見る」と見えてくる。

４、　観察の結果

◎行った場所➡近くの公園、大威徳寺（岸和田市）、祖父の畑（和歌山市）、祖父母宅の近く（和歌山市）、根来げんきの森（岩出市）
◎なかなか見つからない日が続いた➡暑さで地面がカラカラ　キノコはたくさんある
◎雨が降った次の日から見つかり始めた➡朽ち木のある場所にたくさんいた
◎粘菌かどうか区別がつかないものが見つかる➡和歌山県立自然博物館の川上先生に連絡し、見てもらうことにした

【見つけた粘菌たち】

●キャビアマメホコリ（日本新産種の可能性が高く、研究対象になるため博物館に寄贈）
●ダイダイアミホコリ（やや珍しい品種のため博物館に寄贈）
●アミミダレホコリ（非常に珍しい品種のため博物館に寄贈）
●クロエウツボホコリ●サビムラサキホコリ●ススホコリ●ヘビヌカホコリ
●ホソエノヌカホコリ●ヤリミダレホコリ●ナミウチツノホコリ●シロウツボホコリ
●シロススホコリ



【粘菌とまちがえた生き物たち】小さくて似ているが、触るととても固いものばかりで、粘菌とはちがって形がくずれないものが多い。

●藻の仲間

●菌類や菌糸

●虫のたまご

5、　まとめ、今後の課題

粘菌について初めて知ったときは「地味そうだな」と思っていたが、観察会や参考にした本、和歌山県立自然博物館の川上先生との出会いで、粘菌がとてもきれいで不思議な生き物だとわかった。川上先生が言っていた通り、粘菌は「森の宝石」だなと思った。これからも身近な自然をじっくり観察して新しい生き物に出会いたい。

6、　参考資料

・「変形菌」（発見と観察を楽しむ自然図鑑）川上新一解説
・「きれいでふしぎな粘菌」川上新一著